

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |                           |         |
|---------|-----------------|-------------|---------------------------|---------|
| 事務事業名   | 区長制度運営事業        | 担当課         | 市民協働推進課                   |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間                      | 昭和32年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別                        | 任意的事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 地域コミュニティの充実 | 市民協働                      | 委託事業    |
| 予算科目コード | 01-020702-03 単独 | 根拠法令・条例等    | ・守谷市区長設置規則<br>・自治会連絡協議会会則 |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？   |  |
|--|--|
| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
| 自治会・町内会からの質問・要望を中心とした「区長会議」を年2回開催していたが、平成17年度から開催を年1回（4月）とし、業務内容の説明を中心とする「区長業務説明会」に変更した。<br>また、平成14年12月、区長提案により区長相互の情報交換を目的とした「守谷市区長連絡協議会」が設立され、平成16年11月に名称を「守谷市自治会連絡協議会」に変更した。令和2年度には、これまでの代議員制を見直し、令和2年12月から新たに役員会が発足した。 | ・自治会・町内会から選出された代表者を区長に委嘱し、自治会・町内会との業務委託契約に基づき、文書配布や市政に関する地域の要望等の取りまとめ等を依頼する。また、年度末に、自治会・町内会に対して業務委託料を支払う。<br>・年度当初に全区長を対象にした説明会を開催し、業務内容の説明や、自治会・町内会活動に対する支援制度等の説明を行う。<br>・158自治会・町内会により「守谷市自治会連絡協議会」を組織し、全区長の中から役員（会長1名、副会長若干名）を選出し役員会を設置する。役員会において、自治会・町内会相互の情報交換や組織の充実を図る取組、課題解決に向けた取組を検討し、実施する。令和3年度から新たな意見交換の場として「自治会・町内会まるごとミーティング」を開催している。<br>・「茨城県自治会連合会」に加入し、総会や情報交換会等に参加することで、他市町村との情報交換を行う。 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   |  |
| ・自治会・町内会の代表者を区長として委嘱することで、市と自治会・町内会の緊密な関係を構築し、市政運営の円滑化と自治会・町内会の発展に寄与する。<br>・区長業務説明会により、区長に業務内容等を理解してもらう。<br>・区長相互の情報交換等を行うことで、区長同士のつながりを強化し、自治会・町内会単位では解決できない課題等に対し、協力・連携ができる体制にする。  |  |
| （参考）基本事業の目指す姿  |  |
| 地域住民のコミュニケーションが活発で、自治会・町内会活動の必要性が理解されるようにする。   |  |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）   |   |
|---|---|
| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール  |
| 【現状・問題】「区長業務説明会」や「自治会・町内会まるごとミーティング」を開催し、区長業務に対する不安の払拭や区長間の情報交換や共有の場を設けているが、1年間で区長を交代する地区が多い状況にある。<br>【課題】高齢者による退会や、若年代の自治会・町内会離れなどから、自治会・町内会の加入率が低下している。また、「市役所から依頼されるの業務や、行事等への出席依頼が多すぎる」といった声も、役員等から寄せられている。 | 令和6年度<br>4月 区長業務説明会開催<br>9月 自治会・町内会まるごとミーティング開催<br>10～3月 自治会・町内会アプリの実証実験<br>（通年）自治会・町内会の支援等<br><br>令和7年度<br>4月～ 自治会・町内会アプリの本格導入・拡大<br>4月 区長業務説明会開催<br>10～11月 自治会・町内会まるごとミーティング開催<br>（通年）自治会・町内会の支援等 |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）   |   |
| ・自治会・町内会の継続性を確保するため、区長業務説明会等の会議内容を充実し、経験の浅い区長が円滑に運営できるよう支援する。<br>・区長業務説明会について、区長が対象となる他課の会議（廃棄物減量推進委員会等）を可能な限り共同開催として実施し、区長の負担を軽減する。<br>・区長業務を軽減するため、自治会・町内会アプリの導入をはじめとするDX化を検討していく。                            |   |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）  |   |
| ■増加<br><input type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減   | 自治会・町内会アプリの運用経費については、区長業務委託料の減額により自治会・町内会に一部負担してもらう予定ですが、本格導入することになった場合は、初期設定費などの導入費用が掛かってしまうため、コストは「増加」となる予定である。<br>なお、自治会・町内会アプリを導入した場合でも拡大していくことで、将来的には広報紙の印刷部数が減り、費用を低下させることができると考えている。         |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題  |
|--|--|---|
| <p>・新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の両立を実現する「新しい生活様式」の定着に伴い、感染予防を重視し、配布資料の内容を見直し、対面による区長業務説明会を開催した。</p> <p>・158地区自治会・町内会を対象とした「自治会・町内会まるごとミーティング」を5月と11月に開催した。より興味をもってもらえる内容とするため、5月は先進自治会（久保ヶ丘四丁目自治会）の活動事例の発表と区長同士の情報交換会を行った。また、11月には事前にアンケート調査を実施、「区長業務を行う上での課題」の集計結果を報告し、さらには区長同士で課題に係る意見交換を行った。</p> |  | <p>・区長の業務負担を軽減するため、区長の多くが兼務している廃棄物減量等推進委員会議と合同で区長業務説明会を開催し、市が開催する会議の出席要請回数の減少に努めた。</p> <p>・158地区自治会・町内会を対象に「自治会・町内会まるごとミーティング」を9月に開催した。平成時代における守谷市のまちづくり構想の黎明期から関わりのあった長谷川幸介氏を講師に招き、基調講演の後、区長同士の情報・意見交換を行った。</p> <p>・守谷市自治会連絡協議会の役員会を3回開催し、今後の「自治会・町内会まるごとミーティング」のあり方について活発な議論を交わし、円滑に実施することができた。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |  |       |       |       |       |          |
|---|---|--|-------|-------|-------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度  | R04年度 | R05年度 | R06年度 | R07年度 | 目標値（R08） |
| 自治会の加入率（%）  | 67.00   | 64.00  | 64.60 | 62.40 | 61.60 | 0.00  | 72.00    |
| 役員会、代議員会、研修会の開催回数（回）  | 3.00  | 3.00   | 3.00  | 4.00  | 4.00  | 0.00  | 3.00     |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |  |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input checked="" type="checkbox"/> 低下 | 自治会・町内会の加入率については、市の人口が継続して増加しているにもかかわらず、自治会等への加入者が増加していないことから、令和5年度と比較して、0.8ポイント減少した。また、役員会、代議員会、研修会の開催回数は「自治会・町内会まるごとミーティング」等の開催により、令和5年度と同数の4回となっており、目標値の3回を達成している。<br>加入率の減少傾向を上向きにすることは依然難しく、加入率の低下が及ぼす影響を踏まえ、成果は低下していると判断する。 |  |       |       |       |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |  |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了   | ・区長の業務負担を考慮し、今後の区長業務の負担軽減や効率化の方法等を検討する。<br>・「自治会・町内会まるごとミーティング」は、役員と協議の上、区長が求める内容となるように意向を調査し、有意義な意見交換の場を提供できるように検討して実施する。 |       |       |       |       |          |

| コストの推移      |         |         |          |         |         |  |
|-------------|---------|---------|----------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算  | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |         |         |          |         |         |  |
| 計           | 29,234  | 29,253  | 29,310   | 30,267  | 30,267  |  |
| 国・県支出金      | 0       | 0       | 0        | 0       | 0       |  |
| 地方債         | 0       | 0       | 0        | 0       | 0       |  |
| その他         | 0       | 0       | 0        | 0       | 0       |  |
| 一般財源        | 29,234  | 29,253  | 29,310   | 30,267  | 30,267  |  |
| 正職員人工数（時間数） | 954.00  | 933.00  | 1,223.00 | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 3,679   | 3,922   | 5,193    | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 32,913  | 33,175  | 34,503   | 30,267  | 30,267  |  |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |         |
|---------|-----------------|-------------|---------|
| 事務事業名   | 文書配布事業          | 担当課         | 市民協働推進課 |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間    |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別      |
|         | 基本事業(取組)        | 地域コミュニティの充実 | 市民協働    |
| 予算科目コード | 01-020702-04 単独 | 根拠法令・条例等    |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？   |   |
|--|---|
| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
| <p>昭和34年1月の「広報もりや」発行以前から、行政情報が多くの市民に届くように自治会・町内会の協力を得て回覧等を行ってきた。現在も市民に適切に行政情報が届くように、継続して自治会・町内会に文書配布を依頼している。</p> <p>なお、自治会・町内会未加入者への広報紙等の配布については、平成12年に提出された住民監査請求を契機として、希望者に個別配布を行っている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「広報もりや」の発行日（10日）において、広報もりやと併せて各課等から要請された文書等を配布（毎月1回）する。</li> <li>広報紙等の文書配布については、シルバー人材センターに委託して自治会・町内会に配布する。</li> </ul> <p>※ 文書の配布日については、令和4年度まで「広報もりや」の発行日である毎月10日と25日の2回実施していたが、令和5年度から「広報もりや」の発行日が毎月10日のみとなったことに伴い、文書配布も月1回の実施となっている。</p> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   |   |
| <p>市の情報伝達手段の一つである広報紙等を自治会・町内会への依頼により各戸に配布することで、市民に対して、適切に市政情報を提供する。</p> <p>また、文書配布を通して、自治会・町内会を中心とする単位での助け合いである「共助」が促進され、住み良い地域社会の実現に寄与する。</p>   |   |
| （参考）基本事業の目指す姿  |   |
| <p>地域住民のコミュニケーションが活性化されるとともに、自治会・町内会活動の必要性かつ重要性が理解されるようにする。</p>  |   |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）  |  |
|--|--|
| 事業の現状・問題・課題  | 具体的内容とスケジュール   |
| <p>【現状・問題】現在の広報紙等の文書配布方法は、自治会・町内会による配布が主であり、受け取るためには、自治会・町内会への加入が必要となっています。</p> <p>【課題】自治会・町内会の加入率が100%ではないため、公共施設への配架や希望者への個別配布を行っていますが、全世帯に対して配布されていない状況にあります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会への加入促進（通年）</li> <li>ホームページ等の電子媒体による閲覧推奨（通年）</li> <li>公共施設への配架や希望者への個別配布（通年）</li> </ul> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）  |  |
| <p>・配布率の向上と個別配布件数の減少を図るため、自治会・町内会への加入促進を図るとともに、ホームページ等の電子媒体による閲覧を推奨していきます。</p>   |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |  |
| <input type="checkbox"/> 増加<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減   | <p>令和7年度も同様に、自治会・町内会加入者への配布と未加入者の希望者への配布方法を継続していくため、コストは「維持」の見通しである。</p>   |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題   |
|--|--|--|
| <p>R05年度の取組・評価・課題</p> <p>文書配布が月2回から月1回に減少したため、各課からの1回当たりの配布文書が集中した。これに伴い、受託者であるシルバー人材センター担当者の仕分けや配布等の業務量が増加し、担当者の負担が増加したため、受託者から配布方法・体制の見直し等の要望があった。この改善を図るため、配布方法の変更等について検討した結果、人員増による対応が最小限の変更であったため、シルバー人材センターの配布担当者を4人から5人に増員して対応した。</p> |  | <p>R06年度の取組・評価・課題</p> <p>「広報もりや」の発行日（10日）において、広報もりやと併せて各課等から要請された文書等を配布（毎月1回）した。なお、各自治会・町内会への配布に当たっては、シルバー人材センターに委託して実施した。</p> <p>文書配布が月1回になり、今年度も文書配布日における配布物の量は常に多かったため、配布担当者の人数（5人）の適否について注視していたが、問題なく配布することができた。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |  |           |           |           |       |           |
|---|--|--|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度  | R04年度     | R05年度     | R06年度     | R07年度 | 目標値（R08）  |
| 配布世帯数（世帯）   | 20,624.00  | 20,587.00  | 20,668.00 | 20,712.00 | 20,810.00 | 0.00  | 22,000.00 |
| 配布率（%）  | 74.83  | 73.42  | 72.13     | 72.29     | 70.60     | 0.00  | 75.00     |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |  |           |           |           |       |           |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input checked="" type="checkbox"/> 低下 | 配布世帯数は、市の人口増加の影響もあり、令和5年度と比較して98世帯増加（+0.5%）した。なお、配布率は、令和5年度と比較して1.69ポイント減少しており、目標値を4.4ポイント下回っていることから、成果は低下していると判断する。 |  |           |           |           |       |           |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |  |           |           |           |       |           |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了          | 文書配布については、配布回数が月1回に変更となり、1回当たりの配布量が増加している。今後も配布量が増加する場合は、担当者の増員や配布車両の増加により事業費が増加する可能性があることから、各課に対して配布物の削減と周知の効率化（広報紙と回覧の二重周知の削減等）を要請し、配布業務の適正化を図る。また、配布率が低下していることから、配布率向上に向けて、他自治体の文書配布方法等を調査し、改善に向けて検討していく。 |           |           |           |       |           |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |       |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |       |
| 事業費         | 計       | 4,240   | 2,414   | 2,621   | 3,080   | 3,080 |
|             | 国・県支出金  | 30      | 51      | 51      | 51      | 51    |
|             | 地方債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
|             | その他     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
|             | 一般財源    | 4,210   | 2,363   | 2,570   | 3,029   | 3,029 |
| 正職員人工数（時間数） | 461.00  | 601.00  | 357.00  | 0.00    | 0.00    |       |
| 正職員人件費      | 1,778   | 2,527   | 1,516   | 0       | 0       |       |
| トータルコスト     | 6,018   | 4,941   | 4,137   | 3,080   | 3,080   |       |

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |  |        |
|---------|-----------------|-------------|--|--------|
| 事務事業名   | 自治公民館事業         | 担当課         | 市民協働推進課  |        |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間   | 平成4年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別   | 任意的事務  |
|         | 基本事業(取組)        | 地域コミュニティの充実 | 市民協働   | 補助事業   |
| 予算科目コード | 01-020702-08 単独 | 根拠法令・条例等    | 守谷市自治公民館建設補助に関する規則<br>守谷市空き家等活用コミュニティ推進事業助成金交付要綱 他 |        |

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
|---|--|
| <p>地域住民の交流及び地域づくりを推進するため、平成4年に自治公民館の建設・修繕に係る費用の助成事業を開始した。平成21年に地域社会の活性化を図るため、空き家等を活用したコミュニティサロンの開設支援事業を開始し、令和2年に空き家等の借上げに要する費用の一部を自己負担していただく事業に変更した。</p> <p>また、自治会・町内会等の場づくりの支援のため、令和2年から近隣の自治公民館等の使用料を助成する事業を開始した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館の新築・改築・増築や修繕等を行う場合は、申請書を前年度の7月末までに提出してもらい、内容を審査の上、翌年4月に補助金（補助率：補助対象事業費の1/2）の交付決定を行う。また、工事完了後に実績報告書を市に提出いただき、竣工検査を実施し、補助金を交付する。</li> <li>自治公民館を所有していない自治会・町内会に対して、地域住民の交流の場として借り上げる空き家等の経費の95%（上限：月額95,000円）を自治会に助成する。</li> <li>地域活動を行うために近隣の自治公民館や民家、店舗等の施設を使用する際の経費の95%（上限：1回1,900円）を助成する。</li> </ul> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |  |
| <p>地域住民の交流や地域づくりの推進の場となる自治公民館の新築改築・増築や修繕に対して補助金を交付し、地域住民の自主的な活動を促進する。</p> <p>また、自治公民館を持たない自治会・町内会に対して、使用料や借上料等を助成することで活動する場の確保を支援し、地域活動の活性化を図る。</p>   |  |
| （参考）基本事業の目指す姿   |  |
| <p>市民主体のコミュニティ活動を促進するための活動基盤を整備する。</p>  |  |

## 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）

| 事業の現状・問題・課題  | 具体的内容とスケジュール   |
|--|--|
| <p>【現状・問題】地域住民の交流等を促進するため、「自治公民館建設補助：①」、「空き家等コミュニティ推進事業助成：②」及び「地域活動のための施設等使用料助成：③」を運用していますが、一部の自治会・町内会に対する市の財政負担が大きい状況にあります。</p> <p>【課題】・①については、多くの公民館が築30年超となり、今後、大規模修繕が発生する見込みです。また、故障・盗難等による突発的な対応が増えています。</p> <p>・②では、現在5団体のみでの利用で、自治会・町内会等の負担割合は5%であり、市の負担が大きい状況にあります。</p> <p>・③では、活用団体がほぼない状況（令和5年度1件）にあります。</p> | <p>「自治公民館建設補助」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 他自治体の事例等調査</li> <li>令和7年度 規則改正の検討</li> <li>「空き家等コミュニティ推進事業助成」</li> <li>令和7年度 活用団体の実施情報収集</li> <li>令和8年度 検討委員会における事業の内容・継続の検討</li> <li>「地域活動のための施設等使用料助成」</li> <li>通年 活用拡大方法の検討、情報発信</li> </ul> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①については、緊急案件への対応の規定化や補助対象物の範囲（バリアフリー工事を含むかどうか）の見直し、補助金額の上限額の設定等について、他自治体の事例を参考に見直しを検討します。</li> <li>②では、過去に5%以上の引上げを試みましたが、利用者の混乱を招いた経緯があります。制度内容の変更は困難を極めますが、現状の受益者負担の妥当性について、自治会・町内会と協議しながら検討していきます。</li> <li>③については、引続き周知等を行い、制度の活用を促します。</li> </ul>                           |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |  |
| <p>■増加</p> <p>□維持</p> <p>□削減</p>   | <p>令和7年度については、事業内容に変更はありませんが、下新田町内会の自治公民館の新築や大木農村集落センターの大規模修繕が予定されているため、コストは「増加」する見通しです。</p>   |

| R05年度の取組・評価・課題  |  | R06年度の取組・評価・課題   |  |
|---|--|--|--|
| <p>・自治公民館建設補助事業は、申請に基づくものであり、件数及び補助金に増減はあるが、申請に対して概ね補助ができています。なお、令和5年度は6件の修繕に対して補助金を交付した。</p> <p>・空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、5団体が令和4年度に契約更新を行い、引続き活用している。</p> <p>・地域活動のための施設等使用料助成金は、1団体の利用に留まり、貸与したい、借用したい自治会・町内会の情報が少ないため、活用が大きく伸びていない。</p> |  | <p>・自治公民館建設補助事業は、5地区の自治公民館の修繕に対して、補助金を交付した。なお、申請のうち1件は空調機の室外機が全て盗難に遭ったもので、酷暑を考慮し緊急対応として補助を行っている。</p> <p>・空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、令和4年度に契約更新を行った5団体（けやき台二丁目町内会等）に対して、助成金に交付した。</p> <p>・地域活動のための施設等使用料助成金は、令和5年度と同様の1団体に対して、助成金を交付した。</p> |  |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |   |          |          |          |       |          |
|---|--|---|----------|----------|----------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度   | R04年度    | R05年度    | R06年度    | R07年度 | 目標値（R08） |
| 自治公民館建設補助事業の補助金の額（千円）   | 3,813.00   | 2,530.00  | 4,700.00 | 4,572.00 | 1,663.00 | 0.00  | 4,000.00 |
| 自治公民館建設補助事業の補助金の交付件数（件）   | 8.00   | 3.00  | 3.00     | 6.00     | 5.00     | 0.00  | 8.00     |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |   |          |          |          |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input checked="" type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | <p>自治公民館建設補助事業の補助金の額は、令和5年度と比較して2,909千円減少（△63.6%）し、交付件数も令和5年度と比較し1件減少（△16.7%）している。当補助金は自治会・町内会の申請に基づくものであり、申請内容によって金額の増減は大きく変動することから、件数から判断し、成果は横ばいであると判断する。</p> |   |          |          |          |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |   |          |          |          |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持  | <input type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了   | <p>・自治公民館建設補助事業の件数は、各自治公民館の老朽化により増加する可能性がある。</p> <p>・空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、現在の5団体が引き続き活用していく見通しである。</p> <p>・地域活動のための施設等使用料助成金は、活用する団体が少ないため、引き続き情報の収集・整理と周知を行い、活用される事業となるよう検討していく。</p> |          |          |          |       |          |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |  |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |         |         |         |         |         |  |
| 計           | 10,174  | 9,806   | 6,907   | 26,566  | 0       |  |
| 国・県支出金      | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |  |
| 地方債         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |  |
| その他         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |  |
| 一般財源        | 10,174  | 9,806   | 6,907   | 26,566  | 0       |  |
| 正職員人工数（時間数） | 338.00  | 289.00  | 70.00   | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 1,303   | 1,215   | 297     | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 11,477  | 11,021  | 7,204   | 26,566  | 0       |  |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |                 |         |
|---------|-----------------|-------------|-----------------|---------|
| 事務事業名   | まちづくり協議会推進事業    | 担当課         | 市民協働推進課         |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間            | 平成29年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別              | 任意的事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 地域コミュニティの充実 | 市民協働            | 事業協力    |
| 予算科目コード | 01-020702-15 単独 | 根拠法令・条例等    | 守谷市協働のまちづくり推進条例 |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？   |   |
|--|---|
| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
| <p>本市では、十数年後には人口が減少に転じることが推計され、将来、他市町村と同様に様々な課題が懸念されている。市全域の課題だけでなく、各地区の課題に対応し、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくために、市民や地域が主役となる「地域主導・住民主導のまちづくり」へ行政運営を転換していく必要がある。</p> <p>「地域主導・住民主導のまちづくり」を推し進める組織として、「まちづくり協議会」を設立し、支援を行う。</p> | <p>各地区に設立された「まちづくり協議会」に対し、人的支援（市職員等による技術的支援等）、財政支援（交付金の交付）、活動拠点の支援（拠点の整備及び提供）を行うことで、各地区の特性に合った「まちづくり」を進め、「地域主導・住民主導のまちづくり」を実現する。</p> <p>令和3年度に、各地区の課題を的確に捉え実施する活動に、新たな交付金として「まちづくり協議会活動支援分野別交付金」を導入し、令和4年度には分野を拡充し、財政支援の強化を進めている。</p> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   |   |
| <p>各地区において「まちづくり協議会」が中心となり、市民、自治会・町内会、団体、事業者等が連携・協力することで、地域の活性化及び課題解決に取り組むことが可能となり、市が目指す「地域主導・住民主導のまちづくり」を実現することができる。</p>  |   |
| （参考）基本事業の目指す姿  |   |
| <p>市民、市民公益活動団体、事業者、まちづくり協議会及び市が相互に良きパートナーとして連携し、まちづくりに取り組むことで、「協働のまちづくり」を発展的に推進する。</p>   |   |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）   |  |
|---|--|
| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール   |
| <p>【現状・問題】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各地区における活動が停滞していた。新しい生活様式の定着に伴い、令和4年度から活動が再開されているが、一部の地区においては活動が活発に行われていない状況にある。</p> <p>【課題】・活動が活発でない地区の活性化を図るため、適切な支援を行う必要がある。</p> <p>・地区の特性や状況、他地区の活動状況を把握し、的確に提案を行う必要がある。</p>  | <p>4～5月 定期総会の開催支援<br/>9～10月 敬老会、防災訓練等の実施支援<br/>通年 役員会の開催支援及び各種イベント等の実施支援<br/>通年 活動内容の提案</p> <p>※ 内容とスケジュールは、各まちづくり協議会によって異なる。<br/>※ 多世代交流の視点を取り込んだ行事を実施していく。</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の自立を阻害しないように留意しながら、過不足のない適切な支援を行う。</li> <li>地域の課題や関心事、特性等を日頃から注視し、その地域に適した実現性の高い活動に係る情報収集を行い、的確に活動の提案を行う。</li> <li>既存事業について、継続性を確保するため、時期や実施内容等を変更・改善するなど、可能な範囲で「できること」を「できるだけ」続けて実施していくことができるように支援する。</li> </ul> |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）  |  |
| <p>■増加<br/>□維持<br/>□削減</p>  | <p>交付金の算出方法は、「均等割100万円＋人口割（@100円×対象人数）＋地区敬老行事費用（@850円×対象人数）」であり、人口増及び高齢者増が予測されるため、コストは「増加」する見通しである。</p>  |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題  |
|--|--|---|
| <p>R05年度の取組・評価・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各地区において課題解決や活性化に向けて、地域の特性を生かした様々な取組・事業が実施された。</li> <li>各まちづくり協議会が発行・作成する広報誌やホームページ等により、まちづくり協議会としての活動を周知するための広報活動を積極的に展開した。</li> <li>各まちづくり協議会が円滑に活動できるようにするため、課員が役割を分担し、適切にサポートを行うことで、的確な人的支援を実施した。</li> </ul> |  | <p>R06年度の取組・評価・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各まちづくり協議会が円滑に活動できるようにするため、担当制により課員が各地区を分担し、適切にサポートを行うことで、事業や活動に対する的確な支援を実施した。</li> <li>各地区の活動や行事について、市ホームページのページ構成を整理し、内容を充実させることで、積極的な周知に取り組んだ。</li> <li>全てのまちづくり協議会の会長等を対象に意見・情報交換の場として「地域の理想実現ミーティング」を開催し、有識者による講演と意見交換会を実施した。</li> <li>一部のまちづくり協議会において、構成員の減少や、次の役員の担い手が見つからないなどの人材不足が課題となってきた。</li> </ul> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |   |       |       |       |       |          |
|---|---|---|-------|-------|-------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度   | R04年度 | R05年度 | R06年度 | R07年度 | 目標値（R08） |
| まちづくり協議会の設立数（協議会）   | 9.00  | 9.00  | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 0.00  | 10.00    |
| まちづくり協議会が実施する事業数（事業）  | 64.00   | 72.00   | 79.00 | 88.00 | 80.00 | 0.00  | 80.00    |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |   |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input checked="" type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | <p>まちづくり協議会の設立数については、令和4年度の「ひがし野まちづくりの会（守谷D地区）」設立により、市内全地区での設立が完了したことから、目標値を達成している。また、各協議会の事業数は、担当職員や地域担当職員の支援もあり、各地区において様々な活動が展開され、令和5年度と比較して8事業減少（△9.1%）しているが、目標値を達成していることから、横ばいであると判断する。</p> |   |       |       |       |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |   |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了   | <p>各地区において、課題解決や活性化に向けて活動を展開している。一方で、後継者の育成、世代交代を視野に入れた取組も重要であることから、組織の改善も含め、現況を踏まえて各地区が目指す姿、地域特性に合わせた支援を継続していく必要がある。</p> |       |       |       |       |          |

| コストの推移      |          |          |          |         |         |        |
|-------------|----------|----------|----------|---------|---------|--------|
| 項目          | R04年度決算  | R05年度決算  | R06年度決算  | R07年度予算 | R08年度見込 |        |
| 事業費         | 計        | 20,399   | 23,779   | 23,387  | 37,999  | 38,000 |
|             | 国・県支出金   | 0        | 0        | 0       | 0       | 0      |
|             | 地方債      | 0        | 0        | 0       | 0       | 0      |
|             | その他      | 20,399   | 23,779   | 23,387  | 37,999  | 38,000 |
|             | 一般財源     | 0        | 0        | 0       | 0       | 0      |
| 正職員人工数（時間数） | 4,986.00 | 5,360.00 | 4,370.00 | 0.00    | 0.00    |        |
| 正職員人件費      | 19,226   | 22,533   | 18,555   | 0       | 0       |        |
| トータルコスト     | 39,625   | 46,312   | 41,942   | 37,999  | 38,000  |        |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |                |  |         |
|---------|-----------------|----------------|--|---------|
| 事務事業名   |                 | 市民活動支援センター運営事業 | 担当課                                    | 市民協働推進課 |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治           | 計画期間                                   | 平成14年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進    | 種別                                     | 任意の事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 公益活動の促進        | 市民協働                                   | 委託事業    |
| 予算科目コード | 01-020702-02 単独 | 根拠法令・条例等       | 守谷市民活動支援センター事業実施要綱, 守谷市民活動支援センター事業実施要領 |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？   |  |
|--|--|
| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
| <p>市民活動支援センターは、平成14年12月にボランティア等の市民公益活動を行うため、情報発信や活動の場を提供する施設として浄化センター内に開設した。平成20年4月から市民交流プラザ内に移転し、機能の充実・効率化を図っている。</p> <p>平成28年4月からは、市民活動等に関する知識と経験を有する事業者に運営業務を委託することで、市民活動団体に対し、より効果的な支援が可能となった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動に関する研修会や講座等を開催し、活動の場の提供として会議室や備品の貸出しを行う。令和3・4年度には、学生ボランティアの協力を得ながら、Zoom講座やInstagram講座を開催し、好評を得ている。</li> <li>市民活動の情報を収集し提供するとともに、市民活動団体の交流や連携を促し、団体からの相談に対応する。令和4年度からは、市内の公益活動の発展に寄与する活動を実施することを目的として設立された「もりや公益活動促進協会（令和3年10月設立）」の事務局を担い、市民活動団体の活動支援を強化している。</li> </ul> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   |  |
| <p>市民公益活動を充実させるためには、既存の市民活動団体の強化と新規団体を育成することが必要である。市民や市民活動団体に対し、情報や交流の場を提供することで、市民のボランティア意識の啓発と活動の支援を行う。これに伴い、地域活動を活発化させ、誰もが積極的にまちづくりに参画できる協働のまちづくりの推進を図る。</p>   |  |
| (参考) 基本事業の目指す姿   |  |
| <p>市民活動の情報発信・提供の拠点を設置し、活動を始めやすくすることで、市民活動に参加する市民の増加に取り組み、地域活動の活性化を推進する。</p>  |  |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）  |  |
|--|--|
| 事業の現状・問題・課題  | 具体的内容とスケジュール   |
| <p>【現状・問題】・支援センターが「もりや公益活動助成金」の募集・受付等の事務を行い、令和4年度25団体、令和5年度33団体と活用する団体は増加していますが、団体が事業を継続するための助成期間が最長3年であるため、団体からは期間延長が求められています。</p> <p>・団体の活動件数は、令和4年度344回、令和5年度323回と減少しており、活動が低下している状況にあります。</p> <p>【課題】・公益活動助成金の助成期間・方法等について、検証を行う必要があります。</p> <p>・団体の活動が活性化するような支援方法を検討し、実施する必要があります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>もりや公益活動促進協会助成金<br/>令和6年度 助成金の枠組等の制度改正の検討<br/>令和7年度 令和6年度の検討結果に基づき制度改正・運用</li> <li>団体活動の活性化<br/>通年 もりや公益活動促進協会による団体の交流の場の提供</li> </ul> |
| 改善内容(課題解決に向けた解決策)  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援センター、もりや公益活動促進協会及び市が連携し、新規ステップアップコース等の枠組や内容等を検証し、制度の適正化を図ります。</li> <li>もりや公益活動促進協会による団体の交流の場の提供や助成金等による支援を行うことで、活動の活性化を図ります。</li> </ul>   |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 増加<br><input type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減   | <p>市民活動支援センターの事業増加（もりや公益活動促進協会助成金の制度検討、公益活動団体の相談業務増加）による運営業務委託料の増加やPC（令和元年度購入）の買替が必要であるため、コストは「増加」する見通しです。</p>   |

| R05年度の取組・評価・課題  |  | R06年度の取組・評価・課題   |
|---|--|--|
| <p>市民活動支援センターは、既存の市民活動団体の強化と新規団体を育成するために「もりや公益活動促進協会」の事務局を引き続き担っており、市民活動団体への情報提供や交流の場を創出することで、団体同士のネットワークの強化を図り、市民活動団体が活動を継続できるよう取り組んだ。</p> |  | <p>・令和5年度に引き続き、既存の市民活動団体の強化と新規団体を育成するため、団体への情報提供や交流の場を創出し、団体同士のネットワークの強化を図り、市民活動団体が活動を継続できるよう取り組んだ。</p> <p>・市民活動団体構成員の高齢化が課題であるため、令和6年度は次世代を担う子どもたちに市民活動に興味をもってもらうことを目的として、児童・生徒向け啓発活動の講座やイベントを多く開催し、世代間交流を図ることができた。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |  |          |          |          |       |          |
|---|---|--|----------|----------|----------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度  | R04年度    | R05年度    | R06年度    | R07年度 | 目標値（R08） |
| 団体活動件数（回）   | 264.00  | 245.00   | 344.00   | 323.00   | 362.00   | 0.00  | 380.00   |
| ボランティア講座の参加人数（人）  | 2,383.00  | 2,795.00   | 4,100.00 | 4,121.00 | 4,824.00 | 0.00  | 4,800.00 |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |  |          |          |          |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | <p>市民活動支援センターを活動拠点としているもりやサポ塾の活動が増加したことで、団体活動件数は令和5年度と比較して39件増加（+12.1%）し、ボランティア講座の参加人数も703人増加（+17.1%）していることから、成果は向上していると判断する。</p> |  |          |          |          |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |  |          |          |          |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了                       | <p>令和7年度から市民活動支援センターの運営委託業務に「もりや市民大学」及び「ようこそ守谷へ」を含めて委託するため、事業規模は拡大する。事業の質においても、市民活動支援センターが「もりや市民大学」及び「ようこそ守谷へ」の事務局を担うことで、他の市民活動団体との交流や連携強化につながり、より市民活動団体が活性化し、向上するものと見込んでいる。</p> |          |          |          |       |          |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |        |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |        |
| 事業費         | 計       | 13,276  | 14,043  | 14,056  | 29,446  | 30,000 |
|             | 国・県支出金  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0      |
|             | 地方債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0      |
|             | その他     | 0       | 0       | 0       | 230     | 230    |
|             | 一般財源    | 13,276  | 14,043  | 14,056  | 29,216  | 29,770 |
| 正職員人工数（時間数） | 291.00  | 241.00  | 270.00  | 0.00    | 0.00    |        |
| 正職員人件費      | 1,122   | 1,013   | 1,146   | 0       | 0       |        |
| トータルコスト     | 14,398  | 15,056  | 15,202  | 29,446  | 30,000  |        |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |   |         |
|---------|-----------------|-------------|---|---------|
| 事務事業名   | 市民公益活動支援事業      | 担当課         | 市民協働推進課   |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間  | 平成16年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別  | 任意的事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 公益活動の促進     | 市民協働  | 補助事業    |
| 予算科目コード | 01-020702-10 単独 | 根拠法令・条例等    | 協働のまちづくり推進活動助成金交付要綱 コミュニティ助成事業事務取扱要綱 もりや公益活動補助金交付要綱 他 |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？  |   |
|---|---|
| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
| 平成18年9月に制定した「守谷市協働のまちづくり推進条例」において、「市は市民公益活動を促進するため財政的支援に努める」と規定し、市民との協働のまちづくりを推進するために、市民公益活動に対する助成金制度を開始した。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民公益活動助成金制度を廃止し、令和4年度から「もりや公益活動促進協会（令和3年10月設立）」に補助金を交付して、協会が市に代わり市内の公益活動を行っている団体への助成事業を実施している。</li> <li>自治会・町内会や市民公益活動団体等の自主的な地域活動に対して、「守谷市草刈り等資機材管理規程」に基づき、活動に必要な刈払機や芝刈機等の資機材を貸与する。</li> <li>自治総合センターコミュニティ助成事業として、（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報のために実施する「コミュニティ助成事業」の助成を希望する団体の募集を行い、市が窓口となって申請を行っている。</li> </ul> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |   |
| 様々な団体が自主的に行う公益活動に対して財政的な支援等を行うことで、市民公益活動の創出・継続・発展を促し、市内における市民公益活動を促進する。                                     |   |
| （参考）基本事業の目指す姿   |   |
| 自主的な地域活動を支援することで、市民主体の地域活動が活性化される。  |   |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）   |  |
|---|--|
| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール   |
| <p>【現状・問題】協働のまちづくり活動助成金の申請件数は、令和4年度30件、令和5年度34件、コミュニティ助成事業では、令和4年度2件、令和5年度1件という状況にあり、活用が停滞しています。また、資機材貸出事業は、資機材の経年劣化が見られるため、買替等の検討が必要です。もりや公益活動促進協会助成金は、年々活用団体が増えていますが、事業を継続させるために、新規ステップアップコース（助成期間3年）の助成期間・方法等について検討の必要があります。</p> <p>【課題】自治会・町内会活動やボランティア活動を促進するため、更なる助成金の活用を目指し、広報の強化や申請の簡素化を行う必要があります。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>協働のまちづくり活動助成金                         <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 区長業務説明会での周知</li> <li>通年 広報もりや・ホームページ等で周知</li> </ul> </li> <li>コミュニティ助成事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 区長業務説明会での周知</li> <li>8月 広報もりや・ホームページ等で周知</li> </ul> </li> <li>資機材貸出事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>通年 点検・整備に伴う修繕・更新</li> </ul> </li> <li>もりや公益活動促進協会助成金                         <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 助成金の枠組等の制度改正の検討</li> <li>令和7年度 令和6年度の検討結果に基づき制度改正・運用</li> </ul> </li> </ul> |
| 改善内容(課題解決に向けた解決策)   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>協働のまちづくり活動助成金：引続き自治会・町内会や市民活動を支援するため、制度の周知を図り、助成金の活用を促進します。</li> <li>コミュニティ助成事業：区長業務説明会等において、自治会・町内会に周知し、活用を促進します。</li> <li>資機材貸出事業：日々の点検や整備を行い、必要に応じて修繕・買替等を検討をします。</li> <li>もりや公益活動促進協会助成金：市民活動支援センター及びもりや公益活動促進協会と連携し、新規ステップアップコースの助成期間・方法等について制度を見直し、改善を図ります。</li> </ul> |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）  |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 増加<br><input type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減  | 助成金については、現在運用している支援内容を継続していくため、コストは「維持」の見通しです。なお、資機材貸出については、平成15年に購入した刈払機を現在も使用しており、経年劣化が見られるため、必要に応じて買替する必要もあることから、コストは「増加」することが予想されます。   |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題   |
|--|--|--|
| ・協働のまちづくり活動助成金：令和5年度から防災に関する助成金の窓口を交通防災課に移管し、計画から助成まで窓口を一本化し、対応することができた。<br>・コミュニティ助成事業：令和5年度は2件の助成を申請した。<br>・資機材貸出事業：刈払機の劣化状況を適切に把握し、点検修繕を行いながら、貸出を行った。<br>・もりや公益活動促進協会助成金：令和4年度からもりや公益活動促進協会に当助成制度の運営を引き継いだ。的確かつ円滑に引き継ぎを行うことで、令和5年度は令和4年度よりも多くの団体を助成金の交付により支援することができた。 |  | ・協働のまちづくり活動助成金：関係部署（防災・公園里親）と連携して漏れなく交付できた。<br>・コミュニティ助成事業：申請団体の事業が不採択となったため、事業団体は0件となった。<br>・資機材貸出事業：刈払機が経年劣化により使用不可となったため、1台の入替を行った。その他の資機材についても、劣化状況を適切に把握し、点検・修繕を行いながら、貸出を行った。<br>・もりや公益活動促進協会助成金：もりや公益活動促進協会が的確かつ円滑に制度を運用し、周知に取り組んだことから、令和5年度よりも多くの団体も助成金を活用していただき、活動を支援することができ |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |   |       |       |       |       |          |
|---|--|---|-------|-------|-------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度   | R04年度 | R05年度 | R06年度 | R07年度 | 目標値（R08） |
| 協働のまちづくり推進活動助成金交付件数（件）  | 29.00  | 49.00   | 48.00 | 34.00 | 23.00 | 0.00  | 40.00    |
| 市民公益活動助成金交付事業数<br>※令和4年度から、もりや公益活動促進協会が実施する助成件数（件）  | 4.00   | 3.00  | 25.00 | 33.00 | 44.00 | 0.00  | 50.00    |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |   |       |       |       |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | 協働のまちづくり推進活動助成金交付件数については、公園里親団体として活動していた1団体からの申請（年間申請数10件程度）がなくなったことで、令和5年度と比較して11件減少（△32.4%）しているが、その他の団体の活動は令和5年度と比較して横ばいである。また、市民公益活動助成金交付事業数については、もりや公益活動促進協会に移行してから例年向上しており、令和5年度と比較して11件増加（+33.3%）しているため、事業全体から見て向上と判断した。 |   |       |       |       |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |   |       |       |       |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持  | <input type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了   | 協働のまちづくり活動助成金の申請団体は、公園里親事業に参画している団体も多いことから、関係課と連携して実施していく。コミュニティ助成事業は、引き続き、自治会・町内会に事業を周知することで申請件数の増加を図る。資機材貸出事業は、劣化した資機材の更新も含め、適切に運営する。もりや公益活動促進協会は、事務局である市民活動支援センターと連携し、市民公益活動団体の強化、市民公益活動の促進に努める。特にもりや公益活動促進協会助成金については、例年申請団体が増加していることから、拡大と判断する。 |       |       |       |       |          |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |  |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |         |         |         |         |         |  |
| 計           | 1,586   | 4,908   | 2,429   | 5,874   | 2,900   |  |
| 国・県支出金      | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |  |
| 地方債         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |  |
| その他         | 1,203   | 4,745   | 2,195   | 5,500   | 2,500   |  |
| 一般財源        | 383     | 163     | 234     | 374     | 400     |  |
| 正職員人工数（時間数） | 292.00  | 191.00  | 107.00  | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 1,126   | 803     | 454     | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 2,712   | 5,711   | 2,883   | 5,874   | 2,900   |  |

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |             |         |
|---------|-----------------|-------------|-------------|---------|
| 事務事業名   | 協働のまちづくり担い手育成事業 | 担当課         | 市民協働推進課     |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間        | 平成24年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別          | 任意の事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 協働のまちづくりの推進 | 市民協働        | 実行委員会   |
| 予算科目コード | 01-020702-13 単独 | 根拠法令・条例等    | もりや市民大学設置要綱 |         |

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
|--|---|
| <p>平成21年度に「市民の生涯学習実践の場」として提案された「守谷総合人生大学」をベースとして、守谷市民提案型協働事業発表会実行委員会を中心に「もりや市民大学準備委員会」を平成24年3月に組織し、大学設立の準備を開始した。</p> <p>平成24年10月には、市の課題であった「協働の担い手育成」を目的として市民大学を開校し、運営委員会形式により事業を運営している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もりや市民大学を開校し、市の現況やまちづくりの各分野について体系的に学ぶ講座を市民に提供する。令和2年度（実施は令和3年度）から、これまで半年単位で開講していたコースを全て年単位に拡大した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度からはオンライン授業を導入し、教室での受講とオンライン受講のハイブリット型で開催している。</li> <li>・守谷を知るコースでは、市や身近な情報について楽しく学び、まちづくりにおける基礎的な知識を習得する。いきいきシニアコース及びまちづくり協議会コースでは、分野別に特化したまちづくり活動について実践手法を学習する。市民科学ゼミでは、受講生自らが設定した課題を専門家のアドバイスを受けながら1年間研究し、最終的に関係者に対して研究成果の報告をする。</li> <li>・単発的に公開講座（講演会）を開催し、事業周知や若年層・主婦層など幅広い市民の参画を図る。</li> </ul> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   |   |
| <p>地域の課題は地域で解決しようという意識を持つ方を増やすことが必要であることから、市民に対して様々な分野のまちづくり活動に必要な知識や技能を学ぶ場を提供することで、協働のまちづくりの担い手を育成する。この担い手が地域で活動することにより、市民や地域、団体、事業者と行政が、相互に良きパートナーとしてまちづくりを行う「協働のまちづくり」の推進を図ることができる。</p>   |   |
| （参考）基本事業の目指す姿  |   |
| <p>市民の自主的な参加により、市民活動が活発に行われるようにする。</p>   |   |

## 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）

| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール   |
|---|--|
| <p>【現状・問題】・もりや市民大学の受講生（修了者）は、令和4年度53人、令和5年度69人であり、各コースで活発な講義を展開していますが、受講生はリピーターや高齢世代が多い状況です。</p> <p>・持続的に「協働のまちづくり担い手育成事業」を行う上で、市民大学の運営委員が高齢化しているため、世代交代が必要な状況にあります。</p> <p>【課題】・協働のまちづくりの担い手を増やしていくため、幅広い世代の新規受講生を増加させる必要があります。</p> <p>・市民大学を持続させるため、新たな運営委員を得て、円滑に新体制に移行させる必要があります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員の退任者意向確認を行い、新規加入者の募集行う。</li> <li>・世代交代プロジェクトを発足し、運営委員会の活性化を図る。</li> </ul> <p>4月 運営委員会メンバーの交代案を提案<br/>一定年制を設定し、10年以上の運営委員は相談役に就任</p> <p>6月 開校式（授業開始）</p> <p>9月 次年度市民大学のコース設計（素案）及び方向性の決定</p> <p>10月 各コース講座及び講師の設計</p> <p>11月 11月10日号広報に新規運営委員の募集記事を掲載</p> <p>1月 令和7年度市民大学講義内容の決定<br/>新規運営委員の面接（市民大学学長対応）</p> <p>2月 新規運営委員の決定</p> <p>3月 修了生を対象にアンケート調査を行い、報告書を作成<br/>終了生が「地域の担い手」となれるよう、支援センターと連携し、地域活動に誘導</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年齢層の方が参加できるように、次年度の開講に向けてコースの構成の改善について、運営委員会に働きかけを行います。また、人気のあるコースにおいては、新規申込者を優先するなど、受講生の裾野を広げて行きます。</li> <li>・退任する運営委員の確認と新規運営委員の募集を行い、市民大学の運営に支障を来さないよう、円滑に世代交代を進めていきます。</li> </ul>  |  |

## 次年度のコストの方向性（→その理由）

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 増加<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減 | <p>次年度のコース設計については、現在の4コースと公開講座の構成から5コースと公開講座に変更となり、1コース増加となりますが、1コース当たりのコマ数が20コマから15コマ程度に減少するため、全体のコマ数に変更がないことから、コストは「維持」となる見込みです。</p> |
|--|--|

| R05年度の評価を受けて、R06年度の取組等  |   |
|---|---|
| R05年度の取組・評価・課題  | R06年度の取組・評価・課題  |
| 受講生が高齢者に偏っており、また、リピーターが多いという状況にあったため、この状況を改善すべく、カリキュラムの見直しや講義開催日の見直し等を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に引き続き、「もりや市民大学」の講義について、教室での受講に加えてオンライン受講も行う「ハイブリッド方式」を採用することで、新たな参加者の獲得による受講者数の増加に取り組んだ。</li> <li>運営委員会内に「世代交代プロジェクト」を組織し、市民大学の継続・向上に向けて徹底した議論を行い、運営委員の世代交代を行った。また、運営委員の一部交代に伴い、各コースの講座の設計をゼロベースから行うことで、新規受講生の確保、若い世代の参加に向けて取り組んだ。</li> </ul> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |   |       |       |       |       |          |
|---|--|---|-------|-------|-------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度   | R04年度 | R05年度 | R06年度 | R07年度 | 目標値（R08） |
| もりや市民大学修了者数（人）  | 0.00   | 48.00   | 53.00 | 69.00 | 54.00 | 0.00  | 105.00   |
| 修了時アンケートにおいて、今後地域活動等に参加したいと答えた人の割合（%）   | 0.00   | 0.00  | 50.00 | 57.40 | 0.00  | 0.00  | 80.00    |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |   |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input checked="" type="checkbox"/> 低下 | <p>もりや市民大学修了者数は、令和5年度と比較して15人減少（△21.7%）した。この要因としては、一部のコースにおいて、受講生が修了の条件である7割の出席ができずに修了扱いとはならなかったことによるものである。なお、その他のコースにおいては横ばいの状況である。また、修了時アンケートにおいて今後地域活動等に参加したいと答えた人の割合は、運営委員会においてアンケートを実施しなかったため、指標値を把握できない。</p> <p>よって、修了者数から判断し、低下と評価する。</p> |   |       |       |       |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |   |       |       |       |       |          |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input checked="" type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了   | <p>市民大学については、市民の知識や経験を生かし、より市民ニーズに沿った運営とするため、令和7年度から市民活動支援センター運営業務に含めて事業を委託する。</p> <p>運営における課題として、受講生が高齢層に偏っており、リピーターが多い状況にあることから、協働のまちづくりの新たな担い手を育成するため、市民大学運営委員会（市民）・市民活動支援センター・市が連携し、講義内容や募集方法等を検討することで、引き続き若い世代を始めとする新規受講者の獲得を目指していく。</p> |       |       |       |       |          |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |   |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |   |
| 事業費         | 計       | 1,619   | 1,784   | 1,764   | 0       | 0 |
|             | 国・県支出金  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0 |
|             | 地方債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0 |
|             | その他     | 113     | 110     | 167     | 0       | 0 |
|             | 一般財源    | 1,506   | 1,674   | 1,597   | 0       | 0 |
| 正職員人工数（時間数） | 778.00  | 692.00  | 408.00  | 0.00    | 0.00    |   |
| 正職員人件費      | 3,000   | 2,909   | 1,732   | 0       | 0       |   |
| トータルコスト     | 4,619   | 4,693   | 3,496   | 0       | 0       |   |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |               |      |
|---------|-----------------|---------------|------|
| 事務事業名   | 広報活動事業          | 担当課           | 秘書課  |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治          | 計画期間 |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進   | 種別   |
|         | 基本事業(取組)        | シティプロモーションの推進 | 市民協働 |
| 予算科目コード | 01-020103-01 単独 | 根拠法令・条例等      |      |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？  |   |
|---|---|
| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
| 市の施策やイベント、市内での出来事等の市政情報を広く市民に周知する責務があるため、広報もりや及びSNS等を通じて市民に情報を提供する。   | <広報もりやの発行><br>令和5年度から、広報紙のリニューアル（おしらせ版の廃止）に伴い毎月1回10日に発行し、市政情報や市の魅力を市民に発信する。広報紙では、毎月実施している読者アンケートから市民ニーズを把握し、市民活動や市に縁のある方の紹介など市の魅力を発掘するとともに、市からの情報をより分かりやすく伝える特集記事や連載記事を掲載する。このような編集方針により、市民が手に取り、読んでみたくなる広報紙の制作を目指していく。 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  | <SNSによる情報発信><br>市公式SNS（X、Instagram、Facebook、YouTube）を利用して、市内外へ効果的に情報を発信する。SNSは、写真の多用や動画の掲載が可能であり、ハッシュタグ（見出し語）を使用することで訴求性を高められるなどの利点があることから、これらを活用して守谷市を積極的にPRしていく。  |
| 広報紙等による各種行政情報の発信により、市民に対して必要かつ適切な行政サービスを受けていただくとともに、各種イベント等へ参加を促すことで、行政に対する関心と市政への参加意識の向上を図る。<br>また、市民団体や市内事業者等による様々な活動を紹介することで、読者である市民の守谷への愛着を高め、シビックプライドの醸成につなげていく。 |   |
| （参考）基本事業の目指す姿   |   |
| 市民としての誇りや地域への愛着、住み続けたいという意識の醸成を図る。（定住促進）<br>本市の認知度を高め、流入人口、交流人口の増加につなげる。  |   |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）  |   |
|--|---|
| 事業の現状・問題・課題  | 具体的内容とスケジュール  |
| 【現状・問題】 広報もりやを活用した守谷市の魅力発信業務について、市の様々な魅力に触れた特集や令和5年度から掲載している活躍している市民を紹介する「守谷の技」を連載のほか、市民に興味を持ってもらえる内ような記事を掲載しています。また、リアルタイムで市内外の多くの人に発信することが可能なSNSを、より多くの人に関覧してもらうため、内容の充実を図り、フォロワー数を増やすことが必要です。<br>【課題】 令和5年度に終了した連載に代わり、読者アンケート等を参考に新たな連載が必要です。また、より多くの人に関覧してもらうため、SNSの発信内容を検討します。 | （広報もりやの新連載開始）<br>――実施済みの活動内容――<br>6月 新連載の内容決定<br>7月 新連載開始に係る各課アンケート実施<br>8月 広報もりや8月号新連載第1号秘書課掲載<br>9月 広報もりや9月号新連載第2号のびのび子育て課掲載<br>10月 広報もりや10月号新連載3号保健予防課掲載<br>――今後の活動内容――<br>11月 広報もりや11月号新連載4号建設課掲載<br>12月 広報もりや12月号新連載5号生涯学習課掲載                            |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）  | （SNSの動画投稿及びイベントでのPRを増やす）<br>――実施済みの活動内容――<br>4月 こじゅまる辞令交付式動画投稿、はたらくくるま参加<br>5月 はたらくくるま動画投稿、MOCOフェスタ参加<br>6月 MOCOフェスタ動画投稿、あつまれ未来の名探偵参加<br>8月 こじゅまる絵本制作ワークショップ動画投稿<br>9月 商工まつり<br>――今後の活動内容――<br>10月 商工まつり動画投稿、ジョイフル本田イベント参加<br>11月 ようこそ守谷へ参加<br>2月 守谷ハーフマラソン参加 |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |   |
| <input type="checkbox"/> 増加<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減   | 広報もりやについては、印刷コスト（ページ数等）を抑えつつ、引き続き読みやすい紙面、興味を持たれる有益な記事を作成するとともに、編集作業の効率化や負担軽減を図り、これまで特集していないテーマの企画などを進める。<br>コストを増加させず、SNSフォロワー数を増やすために、各課で実施するイベント等でのPR機会を増やすとともに、興味を持たれる投稿内容や今年度導入する予定の動画編集用パソコンを活用し、よりクオリティの高い動画コンテンツの内容を充実させる。                             |

| R05年度の取組・評価・課題  |  | R06年度の取組・評価・課題  |
|---|--|---|
| R05年度の取組・評価・課題<br>広報紙の発行回数を月1回にすると同時に、横書きのレイアウトを増やし目次ページを追加するなど、見やすさに配慮した紙面へ大幅にリニューアルした。また、月1回発行により編集作業の手間を削減できたことで特集ページの充実を図ることができた。加えて、新連載として活躍する市民を紹介する「もりやの技」、給食の人気メニューを紹介する「もりやのLUNCH TIME」、多様性をテーマにした「みんなキラリと」などを企画・取材し掲載した。SNSではフォロワー数を増やすためMOCOフェスタや商工まつりなどのイベントでブースを出店した。さらに、健康長寿課や給食センターを巻き込み、新たなSNS媒体であるクックパッドを開設した。 |  | R06年度の取組・評価・課題<br>広報紙では、新連載として市役所各課を紹介する「守谷市役所ってどんなところ？」のほか、活躍している市民や団体の紹介、市民が気になっているタイムリーな話題に関する特集を企画するなど、行政情報の発信だけではなく、市の魅力発信にも注力してきた。SNSではイベント等でのキャンペーンのほか、取材先や子どもや若者の様子など、市民の興味・関心のある投稿によりフォロワー数の増加を図った。今後は、動画の投稿やSNSを活用したキャンペーンなど、フォロワー数向上の取組のほか、いいねやコメントなどのリアクションの獲得を目指す。 |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |   |           |           |           |       |           |
|---|---|---|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度   | R04年度     | R05年度     | R06年度     | R07年度 | 目標値（R08）  |
| 守谷市公式SNSアカウントの合計フォロワー数（人）   | 7,731.00  | 9,096.00  | 10,290.00 | 11,957.00 | 13,588.00 | 0.00  | 14,000.00 |
|   | 0.00  | 0.00  | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00  | 0.00      |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |   |           |           |           |       |           |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | SNSにおいて週5回以上の投稿を継続し、広報もりやなどの取材先や各種イベントでの会場や来場者の様子、子どもや若者の写真など、市民の興味・関心のある内容を意識した投稿、イベント等でのフォローアップキャンペーンなどを実施し、フォロワー数の向上につなげることができた。 |   |           |           |           |       |           |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |   |           |           |           |       |           |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了                         | 広報もりやは、行政情報のほか市の魅力発信としても有用な媒体であり、読者アンケートにおいても、特集記事は好評である。より一層の内容充実を図るため、編集作業や校正作業を効率化させるツールの活用について検討が必要。SNSにおいては動画の拡散力が重要であり、コンスタントな投稿を可能とするため、動画の撮影、編集、投稿の体制を整える必要がある。また、いいねやコメントなどのリアクションが獲得できる投稿内容の分析を行っていく。 |           |           |           |       |           |

| コストの推移      |          |          |          |         |         |  |
|-------------|----------|----------|----------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算  | R05年度決算  | R06年度決算  | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |          |          |          |         |         |  |
| 計           | 10,920   | 12,005   | 12,558   | 16,339  | 16,339  |  |
| 国・県支出金      | 15       | 0        | 51       | 0       | 0       |  |
| 地方債         | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |  |
| その他         | 735      | 1,155    | 1,530    | 1,380   | 1,380   |  |
| 一般財源        | 10,170   | 10,850   | 10,977   | 14,959  | 14,959  |  |
| 正職員人工数（時間数） | 4,129.00 | 2,283.00 | 3,466.00 | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 15,921   | 9,598    | 14,717   | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 26,841   | 21,603   | 27,275   | 16,339  | 16,339  |  |

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |               |      |         |
|---------|-----------------|---------------|------|---------|
| 事務事業名   | ホームページ等運営管理事業   | 担当課           | 秘書課  |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治          | 計画期間 | 平成 9年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進   | 種別   | 任意的事務   |
|         | 基本事業(取組)        | シティプロモーションの推進 | 市民協働 | その他     |
| 予算科目コード | 01-020108-03 単独 | 根拠法令・条例等      |      |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？  |  |
|---|--|
| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
| <p>市の情報を効率的かつ広く周知するため、情報発信において即時性を有し、大量の情報を発信することができる公式サイトを開設した。</p>  | <p>市公式サイト及びメールマガジン（メールもりや）の運用管理と情報発信を行う。<br/>                 令和6年度は、令和5年度の大規模リニューアルにより、AI技術を活用した「AIサイト内検索」や「AIチャットボット」、利用者の手続き上の疑問を解決するための「手続ナビゲーション」を公式サイトから利用可能となる。<br/>                 。これにより、利用者満足度の向上や、問い合わせ件数の減少による職員の負担軽減を図る。今後も、公式サイトにおける市民ニーズの把握に努め、必要な改善に取り組めるようにする。</p> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |  |
| <p>市公式ホームページを適切に管理・運用し、行政情報を適宜発信することにより、市民サービスの向上を図る。また、利用者ニーズを意識した情報発信を行い、定期的にホームページ全体のリニューアルに取り組むことで、ウェブアクセシビリティの更なる向上やホームページ内における課題の改善・見直しを行う。これにより、市内外の幅広い世代の利用者が必要な情報を自ら探し出せるようにし、市への興味・関心</p> |  |
| （参考）基本事業の目指す姿   |  |
| <p>ICTを活用した情報提供により、市民としての誇りや地域への愛着、住み続けたいという意識の醸成を図る。<br/>                 また、本市の認知度を高め、定住人口、交流人口の増加につなげる。</p>  |  |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）  |   |
|--|---|
| 事業の現状・問題・課題  | 具体的内容とスケジュール  |
| <p>【現状・問題】引越し・出生などのライフイベントの時に必要な手続は、本人や家族の属性によって異なり、ライフイベントを迎えた市民は、自分に必要な手続をホームページから探し出し、手続を行う必要があります。ただし、人によっては最大30個を超える手続が必要になることもあり、情報が見つけれず、必要な手続が漏れてしまうことがあります。</p> <p>【課題】ホームページに記載された情報は手続が主体となり対象となる方は条件として記されています。そのため、利用者を主体としてその人がどのような手続が必要かを案内するサービスが必要となっています。</p> | <p>実施済みの活動内容</p> <p>4月 ライフイベントごとの必要手続の調査<br/>各手続ごとの持ち物調査</p> <p>6月 質問事項及び必要申請事項の素案作成</p> <p>8月 素案を基に関係各課と確認・修正</p> <p>今後の活動内容</p> <p>10月 各手続と対応するWEBページのリンク付け<br/>関係各課最終確認<br/>5項目のライフイベント（転入、転出、転居、出産、結婚）に対応した案内サービスを公開</p> <p>12月 2項目のライフイベント（離婚、おくやみ）に対応した回答項目の調整</p> <p>定期的実施する活動内容</p> <p>毎月 法律改正等による手続変更に対応した質問事項・必要申請事項の修正</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）  |   |
| <p>利用者が複数の質問事項に「はい」か「いいえ」で回答するだけで必要とする手続を教えてくれる「手続案内サービス」を導入します。</p>   |   |

| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |   |
|--|---|
| <p><input type="checkbox"/>増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>維持</p> <p><input type="checkbox"/>削減</p> | <p>手続案内サービス導入による追加のコストは発生せず、現年度と同様のホームページに付随するシステム及びサーバ使用料等のランニングコストに留まるため、次年度のコストの方向性は維持となります。</p> |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題  |
|--|--|---|
| <p>市公式ホームページをリニューアルし、アクセシビリティを高めるとともに、スマートフォンなどパソコン以外の端末で閲覧する際のディスプレイ幅のスムーズな変更などにより、より見やすくすることができた。また、自然文（話し言葉）で検索できるAIサイト内検索や、同検索機能と連携したAIチャットボットを導入することで、検索リテラシーの有無にかかわらず、必要な情報にたどり着きやすいものとした。</p> |  | <p>利用者が求める情報への迅速なアクセスを実現するため、AIチャットボットのQ&amp;A拡充や、ホームページ内検索結果の表示順位の最適化によって検索精度を高める機能改善を行った。また、利用者が「はい」「いいえ」で設問に回答していただくだけで、「転入」「転出」「転居」「結婚」「出産」といったライフイベント時に必要な手続きを一覧化できる「MORIYA申請ナビ (nicotto)」を導入し、利便性の向上を図った。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |  |            |            |            |       |            |
|---|--|--|------------|------------|------------|-------|------------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度  | R04年度      | R05年度      | R06年度      | R07年度 | 目標値（R08）   |
| 市ホームページ閲覧件数（件）  | 2931812.00   | 3158760.00   | 2587707.00 | 2718756.00 | 4242208.00 | 0.00  | 3000000.00 |
|   | 0.00   | 0.00   | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00  | 0.00       |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |  |            |            |            |       |            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | <p>令和5年2月末に市の公式ホームページがリニューアルされて以来、閲覧数が大幅に増加しており、令和6年度も高い閲覧数を維持している。また、10月に行われた衆議院議員総選挙と11月に行われた守谷市長選挙では、通常時の約10倍の閲覧数があり、令和6年度の閲覧数が急増した理由の一つとなっている。</p> |  |            |            |            |       |            |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |  |            |            |            |       |            |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了  | <p>守谷市のホームページが高齢者や障がい者を含む誰もが利用しやすいものとなるよう、「みんなの公共サイト運用ガイドライン（総務省）」に準拠すべく、JIS規格のウェブアクセシビリティ適合レベルAAの確保、維持、向上を取組目標とし、管理者として継続的な確認・修繕を行うとともに、職員向けにホームページ管理システムの研修を行い、アクセシビリティへの認識の定着を図る。</p> |            |            |            |       |            |

| コストの推移      |         |          |          |         |         |  |
|-------------|---------|----------|----------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算  | R06年度決算  | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |         |          |          |         |         |  |
| 計           | 6,810   | 40,372   | 10,305   | 9,129   | 9,129   |  |
| 国・県支出金      | 0       | 0        | 0        | 0       | 0       |  |
| 地方債         | 0       | 0        | 0        | 0       | 0       |  |
| その他         | 1,862   | 1,942    | 1,774    | 1,882   | 1,882   |  |
| 一般財源        | 4,948   | 38,430   | 8,531    | 7,247   | 7,247   |  |
| 正職員人工数（時間数） | 900.00  | 1,193.00 | 1,429.00 | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 3,470   | 5,015    | 6,068    | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 10,280  | 45,387   | 16,373   | 9,129   | 9,129   |  |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |               |              |
|---------|-----------------|---------------|--------------|
| 事務事業名   | シティプロモーション活動事業  |               | 担当課 秘書課      |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治          | 計画期間 平成26年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進   | 種別 任意の事務     |
|         | 基本事業(取組)        | シティプロモーションの推進 | 市民協働 事業協力    |
| 予算科目コード | 01-020103-02 単独 | 根拠法令・条例等      |              |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？  |   |
|---|---|
| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）  |
| <p>市の魅力を内外に向けて積極的に発信し、市への誇りや共感を持つ人を増やしていくことを目的に、平成26年度に事業を開始した。平成30年度には、守谷市シティプロモーション戦略プランを策定し、市のブランドメッセージを設定した。また、守谷の魅力をイラスト化した「守谷イメージ画」や「守谷市イメージキャラクター」の制作により、市への愛着心の向上を図っている。</p>              | <p>シティプロモーション戦略プランに基づき、シティプロモーション活動を展開していく。しかし、平成30年度に戦略プランを策定してから一定の期間が経過していることから、プロモーション手法の多様化や市を取り巻く社会情勢等の変化も踏まえて、新たなシティプロモーション方針を検討する。</p> <p>また、市民による市民目線での市のPR活動が実践できるよう、「市民記者」のような事業の検討を進めていく。一方で、昨年度制作した守谷市イメージキャラクター「こじゅまる」による市のPRを進めていくため、着ぐるみの利用やオリジナル絵本の制作、キャラクターグッズ制作・頒布などを行う。そのほか、リニューアルしたシティプロモーションサイトで、守谷の魅力がより一層伝わるよう、随時コンテンツを制作し掲載していく。</p> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |   |
| <p>市民に対しては、市の魅力や様々な情報を発信することで、市に愛着を持っていただき、シビックプライドを醸成する。市外に向けても、市の魅力が分かりやすく伝わるようPRを行う。</p> <p>これにより、将来的にまちを発展させていく「担い手」の育成や転入者の増加等、まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開施策「関係人口創出と市内外に向けたプロモーション」に寄与する効果も期待できる。</p> |   |
| （参考）基本事業の目指す姿   |   |
| <p>市民としての誇りや地域への愛着、住み続けたいという意識の醸成を図る。</p> <p>本市の認知度を高め、定住人口、交流人口の増加につなげる。</p>   |   |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）   |  |
|---|--|
| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール   |
| <p>【現状・問題】市民記者（もりやPR社）の任命後、新インスタグラムアカウントのフォロワー数を増加させることに困難が予想されます。また、現在の状況に合わせた新たなシティプロモーション戦略プランについては、まだ検討が十分ではない状況です。</p> <p>【課題】アカウント数を増やしていくには発信するコンテンツの充実のほか、登録促進イベントなども実施すべきです。次年度に新戦略プランの作成を進めるには、守谷市としてどの分野のプロモーションに注力していくのか、方向性の決定が必要です。インナー、アウタープロモーションという区分けはもちろん、移住促進、定住促進、関係人口増など明確な方向性を決定する必要があります。</p> | <p>実施済の活動内容</p> <p>6月 市民記者募集要項作成<br/>シティプロモーション支援業務契約</p> <p>7月 市民記者募集</p> <p>9月 市民記者応募者と面談・決定<br/>オリエンテーション第1回カメラ講座開催</p> <p>今後の活動内容</p> <p>10月 第2回取材講座開催<br/>市民記者アカウント運用方針作成</p> <p>11月 第3回SNSライティング講座開催・正式任命<br/>市民記者アカウント開設・運用スタート<br/>シティプロモーションアンケート実施</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）   |  |
| <p>【アカウント数増加のための施策】</p> <p>次年度、公式サイトにサブサイトを作って発信するコンテンツに深みを持たせ、市民記者の認知を拡大することで、フォロワー数を継続的に増加させます。また、令和6年度下期～次年度にかけて、イベントにブースを出店し、さらなるフォロワー数を獲得します。</p> <p>【新戦略プラン策定に向けた施策】</p> <p>令和6年度下期～次年度にかけて、市内外の方へアンケートやワークショップを実施し、次年度の新戦略プラン策定方針決定の参考とします。また、次年度以降に実施する具体的な事業案を盛り込んだ方針決定資料を作成し、方針を決定します。</p>                  | <p>1月 第1回市民記者運用報告会</p> <p>2月 フォロワー数獲得のためハーフマラソンや朝市出店</p> <p>3月 第2回市民記者運用報告会</p> <p>5月 市民記者サブサイト構築<br/>第3回活動報告会</p> <p>6月 シティプロモーションワークショップ実施</p> <p>7月 第4回活動報告会</p> <p>8月 市民記者によるガイドブック制作<br/>新シティプロモーション戦略プラン作業業務契約</p>   |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）  |  |
| <p>■増加<br/>□維持<br/>□削減</p>  | <p>来年度は市民記者のサブサイト構築や、アカウント獲得ブース出店のためのPRグッズ作成、新シティプロモーション戦略プラン策定業務委託などにより、「増加」となります。また、市民記者が取材した守谷市の魅力を発信する最終成果として、ガイドブックの制作委託を実施するため、予算は増加傾向にあります。</p>   |

| R05年度の評価を受けて、R06年度の取組等   |  |
|--|--|
| R05年度の取組・評価・課題   | R06年度の取組・評価・課題   |
| 市の公式キャラクターのイラスト制作を委託、著作権利用契約を締結し、その後、キャラクター名の公募・市民投票を実施し、市初の公式キャラクター「こじゅまる」が誕生した。キャラクターの認知度を上げるため、広報紙やHP、SNSでの周知はもちろん、ハンドタオルやメモ帳などのグッズ制作や駅前のフラッグ・円柱シートの制作、着ぐるみを制作してPRを行った。 | 前年度に制作したこじゅまるの着ぐるみをイベントで活用するとともに、着ぐるみ使用ガイドラインを定め各課貸出利用を開始。また、イラスト利用に関する要綱を策定し、市民・事業者への利用も促進した。そのほか、守谷市を内外にPRする絵本「ぼく、こじゅまる」や、こじゅまるのLINEスタンプを制作して認知拡大を図った。また、新たなシティプロモーション活動として、市民PRチーム「もりやPR社」を創設。任期を1年に第1期生メンバーがInstagramをメインに、魅力発信を行っている。 |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |   |       |       |        |       |          |
|---|---|---|-------|-------|--------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度   | R04年度 | R05年度 | R06年度  | R07年度 | 目標値（R08） |
| もりやPR社Instagramフォロワー数<br>※令和6年11月開設のため過去実績なし（件）   | 0.00  | 0.00  | 0.00  | 0.00  | 514.00 | 0.00  | 1,000.00 |
| こじゅまる・守谷イメージ画イラスト利用申請数<br>※令和7年度からこじゅまるのイラスト利用数を追加（点）   | 2.00  | 2.00  | 4.00  | 3.00  | 1.00   | 0.00  | 6.00     |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |   |       |       |        |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input checked="" type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | こじゅまるが主人公となり守谷の魅力を発見する絵本を制作・配布するなど、市民が市への愛着を醸成できるよう取り組んでいる。また、市民PRチーム「もりやPR社」の活動もスタートすることで、市民の力を活用した新たな活動も開始。それに伴い、今年度から指標値を「もりやPR社」のInstagramフォロワー数へ変更するとともに、イメージ画イラスト利用と合わせて、こじゅまるのイラスト利用の申請数も追加することとした。ただし、令和6年度は年度下半期にイラスト利用の要綱を策定したため、数値はほぼ横ばいという結果となった。 |   |       |       |        |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |   |       |       |        |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持  | <input type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了  | 市民が市への愛着を持つことで、まちづくりの担い手となっていただけるよう、更なるプロモーション施策を進めていく。具体的には、「もりやPR社」の1期生の集大成として、市のPRブックを制作するほか、2期生を増員してスタートできるように募集・育成を進める。さらに認知を拡大してきた「こじゅまる」を活用して、今後は「絵本製作プロジェクト」のように、市民が「こじゅまる」をきっかけに、市への愛着を持つ仕掛けを展開していく。まずは、「守谷は未来におせっかい」という市のブランドメッセージとこじゅまるを合わせたキービジュアルを、市民ワークショップを経て制作する。 |       |       |        |       |          |

| コストの推移      |          |          |          |         |         |  |
|-------------|----------|----------|----------|---------|---------|--|
| 項目          | R04年度決算  | R05年度決算  | R06年度決算  | R07年度予算 | R08年度見込 |  |
| 事業費         |          |          |          |         |         |  |
| 計           | 6,208    | 11,959   | 14,628   | 9,483   | 9,483   |  |
| 国・県支出金      | 0        | 0        | 2,027    | 1,285   | 1,285   |  |
| 地方債         | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |  |
| その他         | 412      | 4,118    | 765      | 186     | 186     |  |
| 一般財源        | 5,796    | 7,841    | 11,836   | 8,012   | 8,012   |  |
| 正職員人工数（時間数） | 2,515.00 | 1,527.00 | 2,072.00 | 0.00    | 0.00    |  |
| 正職員人件費      | 9,698    | 6,420    | 8,798    | 0       | 0       |  |
| トータルコスト     | 15,906   | 18,379   | 23,426   | 9,483   | 9,483   |  |

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |      |
|---------|-----------------|-------------|------|
| 事務事業名   | 市民の提案事業         | 担当課         | 秘書課  |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間 |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別   |
|         | 基本事業(取組)        | 広聴・情報公開の充実  | 市民協働 |
| 予算科目コード | 01-020101-25 単独 | 根拠法令・条例等    |      |

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
|---|--|
| 市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案、要望、意見等を行政に反映させるために開始した。                               | 市民から行政に対する意見・提案を広く求め、市民のニーズを把握するとともに、市政への参加意識を高める。<br>意見等に対しては、担当課が内容を調査・検討等を経て回答する。<br>令和6年2月の守谷市公式HPリニューアル時に、名称を「私の提案」から「市政へのご意見」へ変更した。<br>意見等の聴取手段は、市ホームページ「市政へのご意見」への投稿、市の公共施設（7施設）に設置してある「市政へのご意見専用紙」による投書箱への投函、秘書課への郵送による。<br>ご意見等に対する回答は、担当部署から1か月を目安に対応している。 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |  |
| 市民に対し、市政に対する意見・提案を広く求め把握するとともに、市政への参加を促す。   |  |
| （参考）基本事業の目指す姿   |  |
| 行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。<br>市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。 |  |

## 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）

| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール  |
|---|---|
| <b>【現状・問題】</b><br>令和6年2月にホームページのリニューアルを行い、投稿フォーム等を変更しました。4月からは「市政へのご意見」事業に関する運用方針に基づき、運用を開始しました。受付したご意見等は、1.意見・要望、2.問い合わせ、3.その他、に分類して対応しています。<br><b>【課題】</b><br>4月の運用開始以降、投稿内容を注視する中で、所管課へのフォローアップや運用上の不具合等の課題が発生しています。チャットボットの活用や集約方法・政策へのフィードバック方法等が検討課題です。 | <b>【実施済の活動内容】</b><br>（随時）課内会議（所管課のフォローアップ、「市政へのご意見」の共有）<br>5月 HP「市政へのご意見」システム修正の検討（住所入力箇所、ナンバリング）<br>7月 年間集計結果（令和5年度）の振り返り<br><b>【今後の活動内容】</b><br>（随時）課内会議を行い、運用上の不具合等への対応<br>11月 政策へのフィードバック方法の検討（予算化を含む）<br>1月 HPへのチャットボット活用に関する検討（関係部署と連携）<br>2月 次年度の運用方針の検討 |
| <b>改善内容（課題解決に向けた解決策）</b><br>所管課との連携およびフォローアップ体制を整えるとともに、HP掲載や投稿者画面の修正など、簡易な変更は随時対応します。<br>チャットボットの活用についても、関係部署と連携し、導入の可能性や運用体制などを検討します。<br>今年度の実績に基づき、政策へのフィードバック方法や効率的な運用方法を検討します。   |   |
| <b>次年度のコストの方向性（→その理由）</b>   |   |
| <input type="checkbox"/> 増加<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減  | 来年度は基本方針を変更せず事業を実施するため、コストの方向性は維持とします。  |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題   |
|--|--|--|
| <p>「私の提案」事業は、市民からの建設的なご意見・ご提案を市政に反映させる広聴制度として開始されたが、実際には各課所管事務に関するご意見やお問い合わせが多く、「提案」という事業名称とのずれが課題となっていた。このため、ホームページリニューアルを機に事業名称を「市政へのご意見」に変更し、運用方針と対応マニュアルを策定した。</p> |  | <p>令和6年度は、意見・要望247件、問い合わせ18件、その他7件のご意見・ご要望を受け付けた。月別件数を分析した結果、9月から12月にかけて前年度の約2倍に増加している。この期間は衆議院選挙及び市長選挙と重なり、ホームページ閲覧件数の増加していることから、選挙等による市政への関心の高まりが、ご意見・ご要望件数の増加に影響を与えたと推察される。また、「回答希望の無し」の投稿が多いことから、市民にとって気軽に意見や疑問を投稿できるツールとして機能していると考えられる。</p> <p>集計結果を基にした政策へのフィードバック体制については、具体的な検討が遅れており、今後の課題である。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |   |   |        |        |        |       |          |
|---|---|---|--------|--------|--------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（R02）  | R03年度   | R04年度  | R05年度  | R06年度  | R07年度 | 目標値（R08） |
| 提案・意見の件数（件）   | 278.00  | 241.00  | 323.00 | 182.00 | 312.00 | 0.00  | 160.00   |
|   | 0.00  | 0.00  | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00  | 0.00     |
| 指標値の動向（→その理由）   |   |   |        |        |        |       |          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | 指標である投稿数増加の要因として、令和6年2月のホームページリニューアルに伴う閲覧件数の増加（HP全体）と、市長選挙における候補者の選挙公約等による市政への関心の高まりが考えられる。                 |   |        |        |        |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |   |   |        |        |        |       |          |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input checked="" type="checkbox"/> 維持  | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了 | 来年度は基本方針を変更せず事業を実施します。政策へのフィードバック方法の検討に加え、事務の効率化・改善を含めた事業の根本的な方向性についても再度検討する。 |        |        |        |       |          |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |     |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |     |
| 事業費         | 計       | 133     | 135     | 132     | 132     | 132 |
|             | 国・県支出金  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
|             | 地方債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
|             | その他     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
|             | 一般財源    | 133     | 135     | 132     | 132     | 132 |
| 正職員人工数（時間数） | 492.00  | 476.00  | 375.00  | 0.00    | 0.00    |     |
| 正職員人件費      | 1,897   | 2,001   | 1,592   | 0       | 0       |     |
| トータルコスト     | 2,030   | 2,136   | 1,724   | 132     | 132     |     |

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |             |       |         |
|---------|-----------------|-------------|-------|---------|
| 事務事業名   | 議会広報事業          | 担当課         | 議会事務局 |         |
| 総合計画    | 政策              | 地域自治        | 計画期間  | 昭和51年度～ |
|         | 施策              | 活気ある地域活動の推進 | 種別    | 任意的事務   |
|         | 基本事業(取組)        | 広聴・情報公開の充実  | 市民協働  | その他     |
| 予算科目コード | 01-010101-08 単独 | 根拠法令・条例等    |       |         |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？   |  |
|--|--|
| 背景（なぜ始めたのか）  | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
| 議会における議案の審議状況や一般質問の内容を市民に周知することを目的に、昭和51年から発行している。   | 議会広報紙を年4回（5月、8月、11月、2月）発行している。<br>広報広聴特別委員会において、発行の都度、編集会議（協議会）を開催し、掲載記事の企画やページ構成、紙面のデザイン・レイアウト等についての確認を行い、原稿を作成している。<br>令和6年度からは、委託事業者も編集会議に出席し、会議の結果を踏まえて、委託事業者において紙面のデザイン・レイアウト等の案を作成することとする。 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）   | 【令和6年度当初予算額】<br>1 需用費 4,035千円<br>議会だより印刷製本費 2,776千円（4回分）<br>2 委託料 1,670千円<br>議会映像配信 379,500円×4回×1.10=1,669,800円  |
| 市議会に対する要望等も多様化しており、開かれた議会が求められる中、定例会議会及び臨時議会の内容を議会広報紙に掲載し発行している。併せて議会録画映像をインターネット上に配信することで、市議会の運営・活動状況を広く市民に情報提供し、市議会への理解と関心を深めてもらう。 |  |
| （参考）基本事業の目指す姿  |  |
| 施策を総合的に推進する。   |  |

| 今年度の分析・次年度の取組（次年度どう改善するのか？）   |  |
|---|--|
| 事業の現状・問題・課題   | 具体的内容とスケジュール   |
| 【現状・問題】<br>映像配信アクセス件数が昨年対比で増加しています。議会では、議会だよりの記事及びSNSに映像配信へのリンクを設定し視聴者の誘導に努めている。<br>【課題】<br>議会としての能動的な広報活動により継続的にアクセス件数を向上させる必要がある。 | 実施済の活動内容<br>4月 議会だより（5月10日号）の一般質問記事において、映像配信へアクセスするQRコードを目次ページから各議員の記事内へと配置変更し、コード読込みの利便性を改善<br>5月 Facebookに掲載する本会議や委員会の案件の詳細を充実させ、読者の興味をひくように改善<br><br>今後の活動内容<br>随時 引き続き議会だより及びSNSで発信する情報の充実を努め、議会活動の周知を実施 |
| 改善内容(課題解決に向けた解決策)   |  |
| 議会ホームページやSNSでの発信内容を充実させることで、市民が議会活動に興味をもち映像配信にアクセスする件数を向上させる。   |  |

| 次年度のコストの方向性（→その理由）   |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 増加<br><input type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減 | 紙代等の高騰に伴う議会だより印刷製本業務の費用増加により、コストは「増加」の見込みである。 |

| R05年度の取組・評価・課題   |  | R06年度の取組・評価・課題  |
|--|--|---|
| <p>議会だよりに映像配信へのアクセス方法の記事を掲載したほか、読者アンケートを実施し今後の企画や紙面構成の参考とした。また、令和6年度の議会だより印刷製本業務の契約に当たり、広報広聴特別委員会の紙面デザイン等についての意見を反映するため、業者が広報編集会議へ出席するように仕様を変更し、担当職員の異動等があった場合にも継続性が担保されるよう改善を行うこととした。</p> |  | <p><b>【取組】</b><br/>令和5年度に引き続き、映像配信へのアクセスするためのQRコードを議会だよりの各号に掲載するとともに、SNSで情報を配信の際、同様のリンクを掲載したことでアクセス数が伸びた。</p> <p><b>【評価・課題】</b><br/>情報配信の内容を充実させるためにも、求められている議会情報を把握して適切な方法・内容の情報配信を効果的に実施することが必要である。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |  |           |           |           |       |           |
|---|--|--|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|
| 指標名   | 基準値（R02）   | R03年度  | R04年度     | R05年度     | R06年度     | R07年度 | 目標値（R08）  |
| 年間発行部数（部）   | 85,200.00  | 85,200.00  | 88,000.00 | 88,000.00 | 88,000.00 | 0.00  | 88,000.00 |
| 映像配信アクセス件数（件）   | 3,496.00   | 6,960.00   | 2,624.00  | 4,583.00  | 9,733.00  | 0.00  | 4,600.00  |
| 指標値の動向（→その理由）   |  |  |           |           |           |       |           |
| <input checked="" type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input type="checkbox"/> 低下 | <p>映像配信のアクセス件数が増加した。増加要因として、年4回発行している議会だよりに各常任委員長の報告や一般質問の動画リンクのQRコードを記載したこと及び各種SNSで映像配信先のリンクをつけて投稿するようになったことが影響していると分析している。</p> |  |           |           |           |       |           |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |  |           |           |           |       |           |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持             | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了                      | <p>開かれた議会として市民への情報提供を継続するため、議会だよりやSNSでの情報発信を充実させる。また、市民に求められている議会情報を把握するためにアンケートを実施することで、効果的な情報発信を目指し、議会だよりについては、設置箇所を拡充し、情報発信の強化に努める。</p> |           |           |           |       |           |

| コストの推移      |         |         |         |         |         |       |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 項目          | R04年度決算 | R05年度決算 | R06年度決算 | R07年度予算 | R08年度見込 |       |
| 事業費         | 計       | 2,870   | 3,277   | 4,446   | 4,362   | 4,362 |
|             | 国・県支出金  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
|             | 地方債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
|             | その他     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |
|             | 一般財源    | 2,870   | 3,277   | 4,446   | 4,362   | 4,362 |
| 正職員人工数（時間数） | 224.00  | 353.00  | 245.00  | 0.00    | 0.00    |       |
| 正職員人件費      | 864     | 1,484   | 1,040   | 0       | 0       |       |
| トータルコスト     | 3,734   | 4,761   | 5,486   | 4,362   | 4,362   |       |